

ごあいさつ

委員長 高橋 裕美

早いもので、一年間を振り返る季節となりました。皆様を支えられ、活動できましたことに心より感謝申し上げます。また、それぞれの郡・市PTAにおかれましても、活発に活動が展開されましたことにお礼申し上げます。

今年度も、「命の尊さ 大切さ」のテーマで進めてきました。「月経教育におけるピア・サポートとは」の研修では、昨年引き続き、思春期への親のかかわり、親同士の支え合うことの大切さについて皆で学びました。また、各郡・市における現状や取り組みについて、日頃感じていることなどを伝え合い、課題などを共有しながら、情報交換を行いました。それぞれの郡・市における母親委員会のあり方は様々ですが、大事なことは、子どもの一番近い存在である母親が、子どもの心に寄り添い、親同士が支え合い、子どもの健やかな成長を見守ることだと感じています。～子どもの体のこと、心、学校のことについて話してみませんか？～を合言葉に、親同士が機会を見つけて、子育ての悩みや不安・・・話してみませんか？今回の研修では、実際に、ピア・サポートを実践しました。思いを共有したことで、気持ちがあんなに楽になったと感想をいただいています。

日々変化する社会環境、ますます加速する情報化社会の中で、これからも、母親会では、母親の目線で、家庭教育に関して学び合い、家庭教育力の向上につながる取り組みを続けてまいりたいと思います。

《遊佐町》
・母親委員会年3回
・母親委員会研修の開催
・母親委員会だより

《最上地区》
・定例委員会年2回
・地区母親委員会全員研修会年1回

《北村山地区》
・母親委員会年1回
・母親委員会だより発行

《酒田市》
・母親委員長等会年3回
・東北ブロック研究大会酒田・磐海大会への協力

《天童・東村山地区》
・母親委員会総会並びに母の集い
講演「子どもの成長のために親ができること」
～産業保健の現場からみえてくるもの～
講師 東谷慶昭氏（精神科医）
・母親委員会だより発行

《米沢市》
・母親委員会年4回
※活動報告、計画、役員選出、
情報交換、講演会(2回)

活動報告

《鶴岡市》
・母親委員会年2回
講演「気づく目と伝える心」
講師 渡邊ゆみ氏
・母親委員会だより発行
・事務局(ブロック)会議3回

《西村山地区》
・母親委員会年3回
講演「子どもたちの安全のために」
～サイバー犯罪～
講師 安達美由紀氏
(東阿賀警察署生活安全課)
・代表委員会年3回

《京屋町地区》
・地区代表母親委員1名が、県PTA母親委員会に出席
・川西町単Pで新規事業計画中

《山形市》
・母親委員会年2回
・拡大母親委員会年1回
講演「親は知らないスマホとSNSの罠」
～きちんと知ろう！実態と危険性～
講師 高橋謙一氏
(県警察本部生活環境課)
・母親委員会だより
「マザーズねっとわーく」発行

《西置賜地区》
・母親委員会年3回
・地区PTA交流会、講演会協力

《東田川地区》
・母親委員会年2回

長井市PTA
研修会より

親は知らない情報社会

～きちんと知ろう！実態と危険性について～



『親が知らない情報社会』

私たちの周りには、たくさんのメディアがあります。メディアは確かに便利ですがその反面、人とのコミュニケーションがとれず、気持ちをコントロール出来ない子供が増えています。

9月6日に長井市PTA連合会による市P研修会がありました。講師に田澤真作氏を迎え、メディアが子どもに与える影響がどれ程大きいのか母親としても大変興味深い内容でした。特に発達障がいといわれる子については、テレビ・ゲームなどのネット漬けにより「見える力」や「想像する力」「感動する」などの感情がなくなり言葉と笑顔をなくしてしまうそうです。結果、キレる、隠れるなどの問題行動や学校においては不登校になり学力低下を引き起こす原因になっているそうです。そのため長井市PTAでも、ノーメディアを提案し、各学校で行なっています。一週間に一日だけ時間を決めてテレビやゲームをせずに子どもと会話をする。少しずつでも続けていく事で、子どもの状態がわかりやすくなるそうです。中学生ともなるとなかなか上手いかわない方が多いですが、これからは親が付き合いたいと思っています。またネットについては、母親の私たちがわからない事が多いのでもっと詳しく知るため、今度は情報交換の場を増やしていければと思います。

西置賜地区：菅原 ひとみ

西村山PTA
母親委員会研修会より

『ケイタイ・インターネットによるトラブルや

犯罪被害防止のために』

9月13日、東阿賀警察署生活安全課主任少年補導専門官の安達美由紀氏を講師に迎え講演会を行いました。

「援助交際」「お金目的の犯罪」普通の生活の中ではありえないから・・・わが子はまだ年齢が若いから・・・と考えていた私でしたが、今回の講演を聞き、小学生だから・・・携帯を持っていないから・・・と安心しては行けないのだと実感しました。実際、小学生が無料のゲームサイトを利用して犯罪に巻き込まれ、自分で解決しようとして事が大きくなってしまったケースも増えているのだそうです。そこで...

子どもたちが犯罪に巻き込まれないようにするには？

- ◎ 携帯を購入する時は、フィルタリング機能をつける。
- ◎ なんでも相談できる親子関係を作る。
- ◎ 「もし〜だったら・・・」と考えられる力、想像できる力を育てる。

この3つのポイントを心に留めて携帯やインターネットの使い方をもう一度家族で話し合ってみることが大切な事だと感じました。

西村山地区：菅野 陽子

県PTA母親委員会に参加して・・・

11月の定例会の活動報告の中で、週に1回テレビや携帯を2時間切るという「ノーメディアDAY」を行なっている学校がある事を知りました。その結果・・・

- ◎ 家族と話す時間が増えた
- ◎ 子どもの目の輝きが違うようになった

などの報告がありました。

「ゲーム」については時間を決めてする様にとっていますが、大人と一緒に時間を決めてテレビや携帯を切ってみる。「ノーメディアDAY」はとても大切な事だと思いました。

天童・東村山地区：須藤 真理

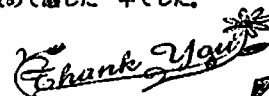
あとがき

「ピア・サポートとは」...初めて聞く言葉...

仲間と共に考え話すことで、気持ちが楽になったり勉強になったりする事。親も子どもも人と人とのつながりの中で生きているんだと改めて感じた一年でした。

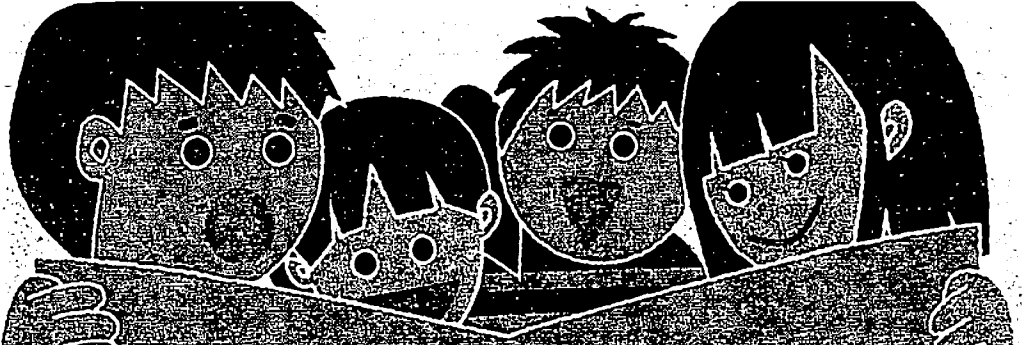
ありがとうございました

深瀬 千香 (北村山)



編集委員

高橋 裕美/深瀬 千香/須藤 真理 /菅野 陽子
(山形市) (北村山) (天童・東村山) (西村山)



親子で読書 深める絆

本を読む子は かならず伸びる

「いのちのおはなし」 日野原重明 著 講談社

いのちって何？生きてるとはどういうことか？ほくはいのちは時間だと分かりました。 舟形小 3年 安達暖人

「きつね小僧」 星新一 著 角川書店

はらはらドキドキする結末。最後まで予想のつかないおち、私はそれがとてもおもしろいです。私もお母さんと読んでみてとても盛り上がり、一週間ぐらいは、その話題でかなり親子の絆が深まったと思ったので選びました。 山一小 4年 石澤こころ

「タンポポ -あの日をわすれないで-」 光丘真理 著 文芸春秋

東日本大震災をテーマにした本で、安なしには読めません。震災の映像や記事はたくさんありますが、この本は子どもたちにぜひ読んで欲しいと思います。がれきの間からたくましく咲くタンポポに子どもたちの笑顔や明るい未来を重ね合わせて「みんながずっと笑顔でいられますように」と祈りたくなる一冊です。 寺津小P 鈴木裕美

「犬友だち」 芥川龍之介 著 岩波書店・角川書店

愚直いじめで、人が自殺しているというのをテレビで聞きました。そこでいじめをなくすためには、まず友だちをたくさんつくっていじめをなくしてほしいので、「学校友だち」というのが、ピッタリだと思ってこの本を選びました。 寺津小 5年 稲村尚

「ドッグ シェルター〜犬と少年たちの再出航 (たびたち)〜」 今西乃子 著 金の巻社

親からの愛情を受けていない少年院の子どもが、同じく親い主から愛情を受けていない犬の信頼を取り戻すという内容。自分はこの本を読んで、少年院の愛情を感じました。感動の気持ちとして一緒に読みた。 昭陽中 2年 海藤 暁

「背い鳥」 重松 清 著 新潮文庫

思春期と言われる今だからこ娘に読んで欲しい一冊です。孤独を感じたら、かになってくれる人が必ずいる。この作品は、ただ生徒に寄り添う事で、生徒に人を信じる事や、自分と向き合う事を教えてくれるすてきな先生のお話です。学生のうちに是非自分の“ムラウチ先生”を見つけて成長して欲しいと思います。 大塚中P 阿部美穂

【月経教育におけるピア・サポートとは】

第2回母親委員会(第1回) 研修しました

講師: 山口 節子氏(社団法人 山形県看護協会)
 日時: 2012年9月19日(水)13:00~14:30
 場所: 山形市男女共同参画センター5F 研修室2

- 「命の尊さ 大切さ」
 県PTA母親委員会では、二年前から性と生について考える研修を行っています。
- 研修のねらい
 ピア・サポートについて学び、母親の子どもに対する月経教育における母親同士の支え合いについて考える
- 研修の主な内容
 ・ピア・サポートの背景、形態、効果 etc の説明
 ・研修を踏まえて、3グループに分かれてフリー・ディスカッション

- ・様々な悩みや不安を抱えた人を同年代の仲間同士で支援、援助しあう活動
- ・情報面でサポート(力になること、仲介・対立の解決、約ンツグに基づく介入)
 ・教育や情報提供(仲間による教え合い、経験を通して仲間による助言)
- ・普段なかなか口に出して聞けない事を相談出来る
 ・人の話を聞くことで自分の気持ちも促される
 ・精神面の回復、ストレス軽減につながる



■あるグループのフリーディスカッション・・・

「月経教育って、自分たちで話し合える機会ってあるの?」



「月経教育って、自分たちで話し合える機会ってあるの?」
 山口 節子氏

「月経教育って、自分たちで話し合える機会ってあるの?」
 山口 節子氏

「月経教育って、自分たちで話し合える機会ってあるの?」
 山口 節子氏

